Creative Enzymes®

ネイティブポーキン・クレアチンキナーゼ

Cat. No. NATE-1884

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンキナーゼは、筋肉、脳、脊椎動物の他の組織に存在する酵素で、ADPとホスホクレアチンをATPとクレアチンに可逆的に□換する触媒です。 クレアチンホスホキナーゼのレベルが上昇している場合、脳損傷や脳卒中、けいれん、せん妄、皮膚筋炎または多発性筋炎、感電、心臓発作、心筋の炎症（心筋炎）、肺組織の死（肺梗塞）、筋ジストロフィーおよび筋症の可能性を示します。
別名	EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; クレアチンホスホキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; 9001-15-4

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
外□	赤みがかったピンクの凍結乾燥粉末
形態	トリスアセテート、DTTおよびEDTAから凍結乾燥、pH: 7.0
***EC*番号**	EC 2.7.3.2
***CAS*登□番号**	9001-15-4
活性	> 500 U/mg
混入物	ALP: < 0.01% LDH: < 0.01% ALT/GPT: < 0.01% GOT/AST: < 1% アンモニア: < 0.01 マイクロモル/mg
単位定義	1ユニットは、37°Cでクレアチンリン酸からADPへの1マイクロモルのリン酸のトランスリン酸化を1分あたり触媒します。

保管・発送情報

保存方法	-20° Cで保管してください
安定性	3年